

東京科学大学 難治疾患研究所 市民公開講座

— 最先端生命科学講座シリーズ 第42回 —

東京科学大学 総合研究院 難治疾患研究所は、「難治疾患に挑む。」をミッションに掲げる研究所であり、がん、心・血管病、神経疾患、骨・関節疾患、感染症・免疫病、生活習慣病など、幅広い領域にわたって研究しています。2009年から、文部科学大臣により難治疾患の全国共同研究拠点に認定されています。

本市民公開講座では、最先端の研究内容を一般の方々にわかりやすくご紹介します。

※本公開講座は医療講演ではありません。

日時

2026年 2月 27日 (金) 午後7時～8時

開催方法

オンライン (Zoom)

共催

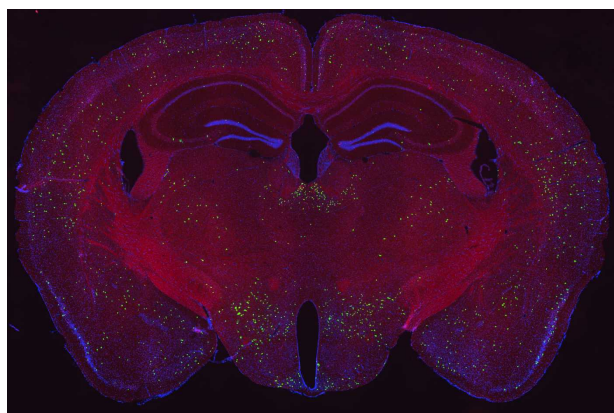
東京科学大学・文京区・公益財団法人文京アカデミー

テーマ

最新脳科学が明かす“ストレス”の正体 ～脳とこころのしくみ～

講師

うちだ しゅうさく

内田 周作 (総合研究院 難治疾患研究所 教授)

心理的なストレスを感じたとき、私たちの脳では何が起きているのでしょうか。同じようなストレスでもなぜ人によってストレスの感じ方は異なるのでしょうか。本講演では、ストレスの正体を最新の研究成果を交えて紹介します。

左図：心理ストレスを受けたときに活性化しているマウスの脳神経細胞（緑色）

2/18(水)23:59 〆切 : 定員50名・参加費無料・15歳以上対象 (中学生を除く)
公益財団法人文京アカデミーHP (<https://www.b-academy.jp/manabi/lecture/science.html>)
からお申し込みください。

©〒112-0003 文京区春日1-16-21 アカデミー文京 学習推進係 TEL: 03-5803-1119 (平日9:00~17:00)

